



2



1

日本の SSC

Shopping Center

ホテル、オフィス、商業施設、住宅と多様な都市機能を集積し、関西経済の再生をめざす

「グランフロント大阪 ショップ&レストラン」

「関西最後の一等地」といわれるJR大阪駅北側の通称「うめきた」に、超高層の大型複合施設「グランフロント大阪」が開業した。大型連休と重なり、開業後11日間で約367万人が来場。12社の企業連合が開発・運営する超大型開発とあって、関西のみならず広域商圏から集客し、好調な滑り出しをきった。

グランフロント大阪は、うめきた東側の先行開発区域プロジェクトで、行政、学界、経済界と開発事業者の公民連携で推進。約7haの広大な敷地には、大阪駅に近いほうから南館、北館、オーナーズタワーが並び、高さ約154〜180mの高層タワー4棟がそびえたつ。まちの中核施設である知的創造拠点「ナレッジキヤピタル」を中心にオフィス、商業施設、ホテル、分譲マンションで構成。関西の玄関口にふさわしい多様な都市機能を集積するのが大きな特徴だ。



3



4



6



7



5



9



8



11



10

1「うめきた」は、旧梅田貨物駅を中心に広がる約24haのエリア。4棟の高層タワーが並ぶ。2 JR大阪駅と、南館、北館は2階の連絡デッキで直結している。3 大阪駅北口の正面に誕生した約1万㎡の憩いの空間「うめきた広場」。4 南館と北館の間のけやき並木にはオープンテラスカフェを常設。5 南館では曲線の通路を生かして大型のセレクトショップを導入。6 スペイン発インテリアショップ「ザラホーム」は日本初上陸。7 ニューヨーク・マンハッタンの老舗ベーカリー「ザ・シティベーカリー」。8 アーバンリサーチの新業態「センスオブプレイス」。9 「ロンハーマン」。10 「大人のたまり場」をテーマに、朝4時まで営業する飲食ゾーン「ウメキタフロア」。11 「世界のビール博物館」& 「世界のワイン博物館」。12 イタリアのスローフードの理念を実践するトラットリア「イルポッカローネ」。13 北館のナレッジキャピタルで先端技術を展示する「アクティブラボ」。14 完全養殖の近大マグロを堪能できる飲食店「近畿大学水産研究所」。15 新たなウイスキーのスタイルやシーンを提案する「サントリーウイスキーハウス」。

概要

グランフロント大阪の概要

所在地 大阪市北区大深町4-1ほか
敷地面積 南館約10,571㎡、北館約22,680㎡、
グランフロント大阪オーナーズタワー約4,666㎡
用途別面積 商業施設約80,700㎡、ナレッジ
キャピタル約88,200㎡、ホテル・サー
ビスレジデンス約38,900㎡、
事務所約236,800㎡、分譲住宅約
65,400㎡
駐車台数 南館約400台、北館約600台、
グランフロント大阪オーナーズタ
ワー約270台

グランフロント大阪 ショップ&レストランの概要

店舗面積 約44,000㎡（南館：約28,000㎡、北
館：約14,000㎡、大阪北口広場：約
2,000㎡）
店舗数 266店舗（南館187店舗、北館58店
舗、大阪北口広場21店舗）



14



12



15



13